

Teacher

学力向上支援教員

堀 美佳 先生



「国語おもしろいやん」と 思っしてほしい

「まだまだ参考にしていただける資料も少なく、試行錯誤の連続です。まさに「開拓しているような心境ですね。大変ですが、取り組むことの良さはあります。」

こう話してくれたのは、堀美佳先生。平成25年度から国語の学力向上支援教員として、護江小学校・大内小学校で授業をしています。

「授業で生徒達が作るポップなどは、まず自分で作ってみます。教える私ができるのに、生徒達ができるわけがありませんから。自分で自分の教え方を評価しながら授業をしています。」

指導要領で「授業を通して生徒に身に付けさせる力」は示されていますが、その力を身に付けさせるための導き方は教員に委ねられています。これまでの授業の方法が通用せず前例も少ない今は、0から1を生み出そうとしている状態。教員自身が勉強を重ね、研究会などを通して知識を共有し、市内小中学校教員全体の授業力向上をはかっています。

「自分の力でできたという達成感は、楽しさ」に繋がります。だからまず、「国語おもしろいやん」と思っしてほしいですね。」

これまでの国語の授業から大きく変わった点は、「ゴールを示す」と、授業で学んだことを《活用する》機会を作ることです。

「国語の授業は今までどこが終わりか分り難かった部分があったんですが、ゴールが見えることで、生徒自身が目的をもって学習することができるようになりました。また、活用場を設けることで、生徒達が自分に付いた力を実感できる機会が増えましたね。」

できた↓楽しい↓もつとやろうというサイクルを作り、学習に対する「意欲化」を図ることが新しい指導要領の狙いのひとつです。

「自分の力で本を読み楽しむことができれば、読書の機会も増え、多くの優れた作品と出会うことができます。これは生徒達にとって大きなプラスになるはず



「世の中にはいろんな職業があります。生徒達が将来どんな仕事に就くのかはわかりませんが、小学校の国語で今後の可能性を広げてあげたいですね。自ら学び成長していくための下地を作っておきたいですね。」

新しい国語の授業を始めてからおよそ8か月、以前より生徒達が本を読む姿を見ることが増えたといいます。様々な知識を与えてくれる本は恰好の先生となります。堀先生は、生徒達が本に触れる機会を増やしていきたいと語ってくれました。

「世の中にはいろんな職業があります。生徒達が将来どんな仕事に就くのかはわかりませんが、小学校の国語で今後の可能性を広げてあげたいですね。自ら学び成長していくための下地を作っておきたいですね。」

新しい授業

護江小学校5年生の国語の授業をご紹介します



なぜ、国語なのか？

国語で学ぶのは、私たちの生活に欠かせない日本語。算数の教科書も理科のテストも社会の地図帳も日本語で書かれています。日本語の読解力を上げることは、他の教科の学習力やコミュニケーション能力の向上にも繋がります。

POINT!

いろんな見方で読む

ひとつの視点だけではなく様々な視点から物語を読みます。いろんな視点があること、正解はひとつではないことなど、日常生活を送る中で実感を伴うこともあるでしょう。

POINT!

学習計画を知る

学習計画を示すことで、見通しを持って授業を進めることができます。終わったら花丸をつけて、次の学習へ。小さなゴールを設けることで、大きなゴールへの道のりの中でも達成感が得られます。



これが、生徒達に示される学習計画

実際に『雪わたり』の授業で使われた学習計画表です。教室の壁に貼り出して、いつでも確認できるようにしています。

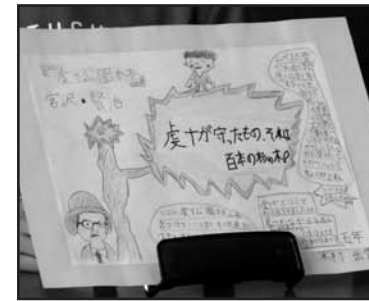
- 学習計画
1. 全体課題を決める
(宮沢賢治について)
 2. 学習計画を立てる
(作品の特徴について)
 3. 語句を調べる
 4. 雪わたりについて
 - ① あらすじをまとめる
 - ② テーマを考える
 - ③ 題名から
 - ④ 登場人物の心情や関係の変化から
 - ⑤ 山場(クライマックス)から
 - ⑥ メッセージを意識させる表現から
 - ⑦ ③交流する
 5. 推薦する作品のポップを作る
 6. ポップを紹介する

POINT!

自分が選んだ本の紹介

教科書で勉強し終わったら、いよいよクライマックス。同じ作家の別の物語を読み、ポップ(宣伝カード)を作ってクラスみんなに本の紹介をします。勉強して身に付けた力の見せ所です。

友達の紹介を聞いて別の本に興味を持ったり、自分と同じ本を選んだ友達の紹介で、違う視点に気づくことも...



POINT!

作家に注目

ひとつの作品を学ぶだけでなく、その作家の別の作品にも目を向けます。同じ作家の作品なら傾向が似ているため、学習した力を効率的に活用できます。



POINT!

用語の貼り出し

授業に出てくる言葉は難しくてもそのまま使います。積極的に覚えてもらうために、教室の片隅にはよく使う言葉がまとめて貼り出されています。

